



# たもんじ 2023年10月号 交流農園 便り Vol.67



## シリーズ 業務連絡#23-02

## 堆肥コンポスト使用についてのお願いと注意点

先月からスタートした「シリーズ業務連絡」。肥料や器具の使い方だとか、やっちゃあいけないことだとか、そういったまさに「業務連絡」的なものを、主に農園会員さん向けに発信してまいります。前回試験的に添付した動画解説は、おかげ様で今月からはYouTube 配信です。2回目にして話題沸騰！どうぞご覧ください!!

たもんじ交流農園は皆さんの畑で終えた野菜を堆肥コンポストで堆肥にしています。そして、その堆肥がまた皆さんの畑に戻り野菜を育てる土壌となります。これを効率よく好循環にするために皆さんにお願いしたいことがあります。

1. 野菜クズは5cmくらいにカットする。特に太くなり木化した枝は10~15cmですと完熟した堆肥になるのに2年かかります。カットする際は剪定ばさみをお使いください。
2. 根っこは入れない。根コブ病などの病気は根っこにあることが多くそれが堆肥に混ざると数年残ってしまいます。
3. 根っこはゴミ袋に入れる。根っこが大きければなるべく小さくカットしてゴミ袋にすき間を作らないように入れてください(ゴミの量を最小化するため)。



YouTube 堆肥コンポスト使用について  
ここをクリック→ <https://youtu.be/5pR2VVj4rfo>

お料理も下ごしらえをしっかりとすると美味しくなるように皆さんの下ごしらえで良い堆肥ができます。当面一番左No.1 が満杯になりましたら左から二つ目のNo.2 に入れてください。よろしくお願い致します。

## 第30回 今、ハマってます!

安倍幸子さん(ごくま農縁)  
(区画 03-2)の場合



夫婦で「盆踊り」にハマってます。盆踊りはやはり夏場がメイン。私達も都内はもちろん、地方まで出向いたり、時には一日で二か所巡ったりします。

そんな盆踊りフリークな私達が、毎年一番の楽しみにしているのは、ここ墨田区で開かれる「牛嶋神社例大祭の奉納踊り」。開催中の3日間、連日各町会の辻々にやぐらが立ち、趣向をこらした盆踊りが行われます。各町会同時多発的に開かれるので、ひと晩で何か所もはしごして踊れちゃうんです。

およそ30町会という大規模でありながら、素晴らしいと思うのは、どの町会も手作り感、温かみがあること。子供達は大人の振りを見ながら一緒になって踊り、その輪の周りでは地元のおじいちゃん、おばあちゃん達が椅子に座って、手踊りしながら観覧していたり、出店なども、町会の人たちが協力して行っています。子供からお年寄りまで一緒になって楽しむ、多世代交流の理想像が、そこにあります。最近ではスカイツリーに来る外国人観光客も踊りの輪に加わったりと、盆踊りには世代や国籍を超えて楽しめるポテンシャルがあると感じています。



牛嶋神社奉納踊りでは三日三晩踊りました



来年の寺島なす★祭りにみんなで踊りましょう!

墨田区のご当地音頭といえば、すみだ音頭が有名ですが、我がたもんじ交流農園から生まれた寺島茄子之介音頭も忘れてはいけませんよね。今夏の「寺島なす★祭り!」でもフィナーレを飾った、寺島なすを知ってもらうためのご当地音頭です。まだ踊ったことがない人も、簡単な振りなので、来年はぜひ一緒に踊りましょう!



2022年すみゆめ踊り行列にて



# 第4回 たもんじ交流農園 フォトコンテスト「真夏の〇〇」結果発表!!

金賞 グランプリ・  
ベストコンセプト



No.1『夏の日のスイカをがぶり2003』  
(藤田理映子)

金賞 グランプリ・  
MVS(最優秀笑顔)



No.39『真夏の収穫』  
(岩脇夕貴)

第4回たもんじ交流農園フォトコンテスト「真夏の〇〇」は、53作品の応募を頂き、シール添付による一般投票と、覆面審査員による厳正なる審査の結果、グランプリには藤田理映子さん『夏の日のスイカをがぶり2003』と岩脇夕貴さん『真夏の収穫』のいずれもお子さまを被写体とした2作品が、準グランプリには真野博史さんの農園野菜を撮られた『真夏の収穫』が選ばれた。佳作には高田直美さん『真夏の涼』、屋代勝幸さん『ハートだらけの夏』が、また一般投票5票以上獲得作品に贈られる金賞は、上記の他、小林佳香さんの『真夏の冷却』、桜庭伸弘さんの『真夏の再開「やあ、お久しぶり!」』、相川佳寛さん『美ら海(ちゅうらうみ)の夏』の6作品が選ばれました。グランプリと準グランプリには副賞として「玉ノ井café Trace」のお食事券が、各2000円・1000円分贈られます。

金賞 準グランプリ・  
八百屋大賞・彩り大賞

元々は、コロナでできない集合イベントの隙間を埋める目的で創設されたフォトコンテストですが、



No.31『真夏の収穫』(真野博史)

回を重ねる毎に、作品としてのクオリティが上がっていることに加え、普段お話ししない方や、しばらくお会いしていない方の、お人柄や近況を知らせ合う場(今回であれば”暑中見舞い”のようなもの)としても、機能しているように思えます。次回第5回は来年1月の予定で”年賀状”としての作品も期待致します(末林記)。



ベストキャップ(帽子)ニスト・  
助演女優賞



金の珠玉大賞・  
きつとオイシイで賞



高所恐怖賞



金賞 イケメン大賞



最多被写体人数・  
冷を感じるで賞

No.13 真夏の水中運動会  
(小林佳香)



物語を感じるで賞・  
名場面賞



ベストメルヘン・  
すみごち大賞



何でもないこの一瞬が好き②



環境賞・  
誰もが納得賞



佳作 最多ハート数

No.21 ハートだらけの夏  
(屋代勝幸)



あなたが大賞①・  
MFF(最も仲の良い家族)



あなたが大賞②・  
MBH(モスバーガー)



赤 de 実-(7ガミ)賞



金賞 Live Show・  
ベストタイトル



人気急上賞

No.28 ギターとタバスコの夏  
(桜庭伸弘)



ベストシャッター



ナスカー(最優秀主演男優賞)



こんなところ行ってみたいで賞



大爆賞



一輪の花大賞

No.35 真夏の主役  
(平田美恵子)

No.32 真夏の寺島茄子之介(実写版)(岩船傑)

No.33 真夏の超リラックス(岩船傑)

No.34 真夏のスカイツリー(岩船傑)





No.36 真夏のヒーロー  
(末林和之)

お祭り依存賞



No.37 真夏の日光白根山  
(富澤正佳)

お山の大賞



No.38 真夏のすいかわり  
(岩脇夕貴)

ナイスシャッター  
チャンス



No.40 真夏の白いドレス  
(渋谷理絵)

花奮(かふん)賞



No.42 真夏の色  
(渋谷理絵)

赤 de 実一(アガミ)  
オマージュ賞



No.46 残暑な朝顔  
(山本香代子)

メッセージ大賞  
最長キャプション文字数



No.47 夏の終わりの満月  
(山本佳代子)

天体鑑賞



No.48 真夏の「はじめま  
して」初めての「白」  
ーヤ。(中山昌子)

最優秀新人賞



No.50 真夏のスプーンニ  
つ (西村香奈子)

メルヘン賞



No.52 花と蝶(佐藤八郎)

ベストエモーショナル



No.5 真夏のプール  
(佐々木静)  
二十一世紀大賞



No.6 真夏の朝のお散歩  
(佐々木静)  
名賞



No.7 真夏の夜空  
(高田直美)  
大胆な構図大賞



No.8 真夏の虹  
(高田直美)  
(雨)上がり賞・  
ベストタイミング



No.9 真夏の涼  
(高田直美)  
佳作 涼を感じるで賞



No.10 美ら海(ちゅうら  
み)の夏1(相川佳寛)  
ボスカラ大賞・  
海の若大賞



No.11 美ら海(ちゅうら  
み)の夏1(相川佳寛)  
ブルーリボン賞・  
沖縄の若大賞



No.22 オアシスで夏を  
感じる(屋代勝幸)  
ベストアングル・  
上野志伸(しのばす)の若大賞



No.23 夏の夕暮れ  
(小柴恵美子)  
旅情大賞



No.24 海@宮崎の夏  
(尾曲涼子)  
最優秀主演女優賞(2名)最  
優秀助演男優賞



No.25 海@マキ  
(尾曲涼子)  
素敵な名刺になるで賞



No.29 晩夏  
(小川 剛)  
畑の大賞



No.41 真夏の荒川土手  
(渋谷理絵)  
定点観測賞



No.43 春が来た  
(水口 均)  
これは春で賞



No.44 真夏 日本橋  
(花田恵美代)  
ナイスフォトジェニック



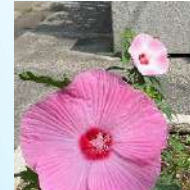
No.45 また来夏会おう!  
(花田恵美代)  
いったい何があったんで賞・  
物語を感じるで賞



No.48 真夏の怪~パプリカを育て  
たわけでは、?(中山昌子)  
ミステリー大賞・  
MDE(最も美味しそうなナス)



No.51 想いは真夏の海  
を越えて(西村香奈子)  
ファンタジー賞



No.53 タイタンピカス  
(佐藤八郎)  
レコード大賞  
(形と大きさがレコード大)



# NEXT STAGE 第5回 佐藤八郎さん

## ～次に私がしたいこと～ “花が繋ぐ子どもと老人の設点”

2018年10月からお世話になった「たもんじ交流農園」を来年3月で終了させて頂くことになりました。この間たくさんの方々から大変お世話になり、ありがとうございました。今後は、深大寺にホテルを飛ばした友人の助言などを得て、ホテルの方で、少しでもお役に立てればと思っております。

私が夏の花タイタンピカスを東向島駅を中心に植えたのは、2009年からでした。世の中、あまりにも暗いニュースが多いので、きれいな花を見て、一瞬でも暗い



ニュースを忘れて欲しいとの願いで始めたものでした。皆さんの協力を得て、今では東向島駅に向かう人は、どの道を通ってもこの花に出会うように植えることができ大変嬉しく思っております。



来年は、北公園の中央に植えた花を、きれいに咲かせ、先ず小さい子供たちに喜んで頂くことと、これに続き、近くに住む老人たちが、きれいな花を見に来て、子どもたちと一緒に楽しむ場ができればと夢見ております。公園を、ただ花できれいにするのではなく、花を通して、子どもと老人の接点ができる、新しい公園の有り方を提案できたらと思っております。(佐藤さんの写真は今年1月のものです)



### 落ち葉による温床のための温室づくりワークショップ(10時～)

10/22(日)	ブロック基礎に土台固定用金物を差して横鉄筋廻して天端をモルタルで均します。土台と柱の切断加工、骨組み建て
10/29(日)	土台や柱など骨組みを寝かせて組んで木板や中空クリアポリカを止めてから起こして建てます。
11/5(日)	金物などで補強固定・残りの中空クリアポリカ張り
11/12(日)	屋根透明ポリカ板張り
11/19(日)	細部残部分・開き扉取付
11/26(日)	残工事のほか枯れ葉入れ・踏み込み・苗床用棚板取付
それ以降	落ち葉を各地から一定量まで集め、踏み踏みします。



※無理なく楽しく進めていきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております(牛久)

## “てらたま農園部から” 第23回～ジャガイモのゴロゴロ植え～

てらたま農園部では寺島なすを撤去した畝に、10月1日、ジャガイモのゴロゴロ植えを行ないました。えっ、ジャガイモのゴロゴロ植えって何？って思いますよね。それは、ジャガイモがゴロゴロ採れるからだろう・・・



と思っておりますが、真偽のほどはわかりません。ジャガイモを畝の上に 30cm間隔でぽんと置くだけ。おしりをちょっと埋め込むぐらいの感覚でしょうか。置いたらその上に黒マルチをピンと張ります。あとは、芽がツンツンとマルチをつつき出すのを待って、ハサミで穴を開けて芽を外に出してやります。出たばかりの葉はちょっと茶色っぽい感じですが 2～3日もすれば緑色に変わってきます。

植える前の日たっぷり水をやって土を湿らせ、あとはほぼ水やり不要。肥料も土寄せも不要です。なんだか菌ちゃん畝と似ているような気がします。



初めて作業に参加したお子さんも加わって、手間いらず栽培第二弾のスタートです！

水口アドバイザーご指導日: 11/26(日) 12/24(日) 10:00～15:00 農園部作業日: 毎週日曜 9:00～



たもんじ交流農園便り  
No.67 般 2023.10.21 発行  
題字 田村風来門  
編集 末林和之



てらたま協議会  
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)  
▲セブン-イレブン記念財団(2018年 2020年に助成金を頂きました)

